

分野： (3) 気管支ぜん息・COPDの動向等に関する調査
① 気管支ぜん息の動向等

(3)-①-(ii)

申請課題名： ii) 表現型別のぜん息増悪因子の同定と長期予後の解析
- 非2型炎症を有するぜん息病態の検討を含めて -

調査研究代表者氏名：長瀬 洋之

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(1) 環境保健対策の推進への貢献度	2人	4人	0人	0人	0人	4.33
(2) 研究成果目標の達成度	2人	4人	0人	0人	0人	4.33
(3) 研究計画の妥当性	3人	3人	0人	0人	0人	4.50
(4) 研究内容の独自性	4人	2人	0人	0人	0人	4.67
(5) 社会・経済に対する貢献度	1人	5人	0人	0人	0人	4.17
個別評価(第3評価):(1)(2)(4)(5)の平均						4.38
(6) 総合評価(第2評価)	3人	3人	0人	0人	0人	4.50
全体評価(第1評価):(1)~(6)の平均						4.42

2 記述評価

- ・研究の進捗状況は良好とみられる。
- ・さらに喘息管理上、臨床的に提案できる成果を作っていただきたい。
- ・全体、2型、非2型での増悪メーカを明らかにした。非2型ぜん息での増悪予測マーカーとして、テネイシン-C、IL-6、TGF- β の再現性をぜひ検討して、応用してほしい。
- ・重症ぜん息治療に用いられる生物学的製剤に関して、新しい知見を提示している。
- ・目標に沿った重要な成果が得られている。本成果が予防事業に貢献されるようお願いしたい。